



2026年7月31日

各位

会社名 ナブテスコ株式会社
代表者 代表取締役 木村 和正
(コード番号 6268 東証プライム)
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部長 峯岸 康
(TEL 03-5213-1134)

2026年12月期 中間会計期間の業績予想値と実績値の差異並びに
通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年4月30日に公表しました2026年12月期の中間会計期間の業績予想及び2026年2月12日に公表しました2026年12月期の中間会計期間の業績予想(個別)と本日公表の同期間における実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせします。
また最近の業績の動向等を踏まえ、2026年12月期業績予想(連結・個別)につきまして、下記のとおり修正しましたのでお知らせします。

1. 2026年12月期 中間会計期間の予想値と実績値の差異について(2026年1月1日～2026年6月30日)

(1) 連結業績予想と実績値の差異の内容

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	税引前 中間利益	親会社の所有者に 帰属する中間利益	基本的1株当たり 中間利益
前回発表予想 (A) (2026年4月30日発表)	157,400	11,200	12,000	6,300	円 銭 53 76
実績値 (B)	167,401	15,846	19,134	12,416	105 94
増減額 (B-A)	10,001	4,646	7,134	6,116	—
増減率 (%)	6.4	41.5	59.5	97.1	—
(ご参考) 前期実績	143,272	9,194	8,544	6,513	54 20

当社は、2025年7月31日にComer Industries S.p.A.と締結した当社及び連結子会社の油圧機器事業に係る株式譲渡契約に基づき、新たに設立した完全子会社(コムテスコ株式会社)に同年12月31日付で同事業を吸収分割の方法により集約し、コムテスコ株式会社の発行済株式の70%について、2026年1月1日付で譲渡を完了しました。これにより、コムテスコ株式会社は当社の持分法適用会社となりました。また、前期に油圧機器事業を非継続事業に分類したことをうけ、前中間連結累計期間の売上高、営業利益、税引前中間利益について、非継続事業を除いた継続事業の金額を表示し、親会社の所有者に帰属する中間利益は、継続事業及び非継続事業の合算を表示しています。

(2) 差異の理由

売上高については、自動ドアで、海外の建物用ドア及び国内でのプラットホームドア需要が堅調に推移したこと、精密減速機では、産業用ロボット向けや一般産業向けでも需要が好調に推移したこと、船用機器において新造船向け需要及びMRO (Maintenance, Repair and Overhaul)需要が好調に推移したことに加え各事業において為替効果により、前回発表予想を上回る結果となりました。

営業利益、税引前中間利益、親会社所有者に帰属する中間利益については、各事業の増収や本社費用の発生時期の遅れ、持分法による投資利益の増加等により前回発表予想を上回る結果となりました。

(3) 個別業績予想と実績値の差異の内容

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2026年2月12日発表)	79,200	7,500	10,000	円 銭 85 34
実績値 (B)	81,738	12,563	15,548	132 66
増減額 (B-A)	2,538	5,063	5,548	—
増減率 (%)	3.2	67.5	55.5	—

(4) 差異の理由

売上高については精密減速機で、産業用ロボット向けや一般産業向けでも需要が好調に推移したことにより前回発表予想を上回る結果となりました。経常利益及び当期純利益については、増収や本社費用の発生時期の遅れ、受取配当金の増加等により前回発表予想を上回る結果となりました。

2. 2026年12月期 通期業績予想値の修正について(2026年1月1日～2026年12月31日)

(1) 連結業績予想の修正内容

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前回発表予想 (A) (2026年4月30日発表)	327,000	27,700	28,600	18,600	円 銭 158 72
今回修正予想 (B)	344,000	32,600	36,300	24,100	206 20
増減額 (B-A)	17,000	4,900	7,700	5,500	—
増減率 (%)	5.2	17.7	26.9	29.6	—
(ご参考) 前期実績	307,912	20,726	21,656	15,695	131 56

(2) 修正の理由

売上高については、主に精密減速機、自動ドア、舶用機器の需要が増加していることに加え、為替効果により、前回発表予想を上回る見通しとなりました。営業利益、税引前利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益については、各事業の増収や経費の抑制、持分法による投資利益の増加等により前回発表予想を上回る見通しとなりました。

2026年12月期の配当につきましては、従来予想から変更ありません。

(3) 個別業績予想の修正内容

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2026年2月12日発表)	165,200	11,000	13,400	円 銭 114 35
今回修正予想 (B)	170,700	18,600	20,200	172 83
増減額 (B-A)	5,500	7,600	6,800	—
増減率 (%)	3.3	69.1	50.7	—
(ご参考) 前期実績	177,112	14,612	11,823	99 11

(4) 修正の理由

売上高については、主に精密減速機が増加していることにより前回発表予想を上回る見通しとなりました。
経常利益、当期純利益については各事業の増収、経費の抑制や受取配当金の増加等により前回発表予想を上回る見通しとなりました。

【参考情報】

① 2026年12月期 連結セグメント情報

(売上高)

(単位:百万円)

	コンポーネント ソリューション	トランスポート ソリューション	アクセシビリティ ソリューション	その他	全社又は消去	計
前回発表予想 (A) (2026年4月30日発表)	88,600	107,600	110,800	20,000	—	327,000
今回修正予想 (B)	95,300	112,700	117,100	18,900	—	344,000
増減額 (B-A)	6,700	5,100	6,300	△ 1,100	—	17,000
増減率 (%)	7.6	4.7	5.7	△ 5.5	—	5.2
(ご参考) 前期実績	79,325	100,473	110,668	17,445	—	307,912

(営業利益)

(単位:百万円)

	コンポーネント ソリューション	トランスポート ソリューション	アクセシビリティ ソリューション	その他	全社又は消去	計
前回発表予想 (A) (2026年4月30日発表)	7,000	18,100	10,100	2,800	△10,300	27,700
今回修正予想 (B)	9,700	19,400	10,700	2,600	△ 9,800	32,600
増減額 (B-A)	2,700	1,300	600	△ 200	500	4,900
増減率 (%)	38.6	7.2	5.9	△ 7.1	—	17.7
(ご参考) 前期実績	5,420	13,586	9,085	2,194	△ 9,560	20,726

(注) 上記の業績予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上